

# 外国につながる 親子支援プロジェクト

外国にルーツを持つ子どもや家庭が、日本人とともに平和な未来を描けるように。そんな目的で支援を行う団体を紹介します。

作成：2023年度名古屋市立大学人文社会学部国際文化学科 山本ゼミ





# もくじ

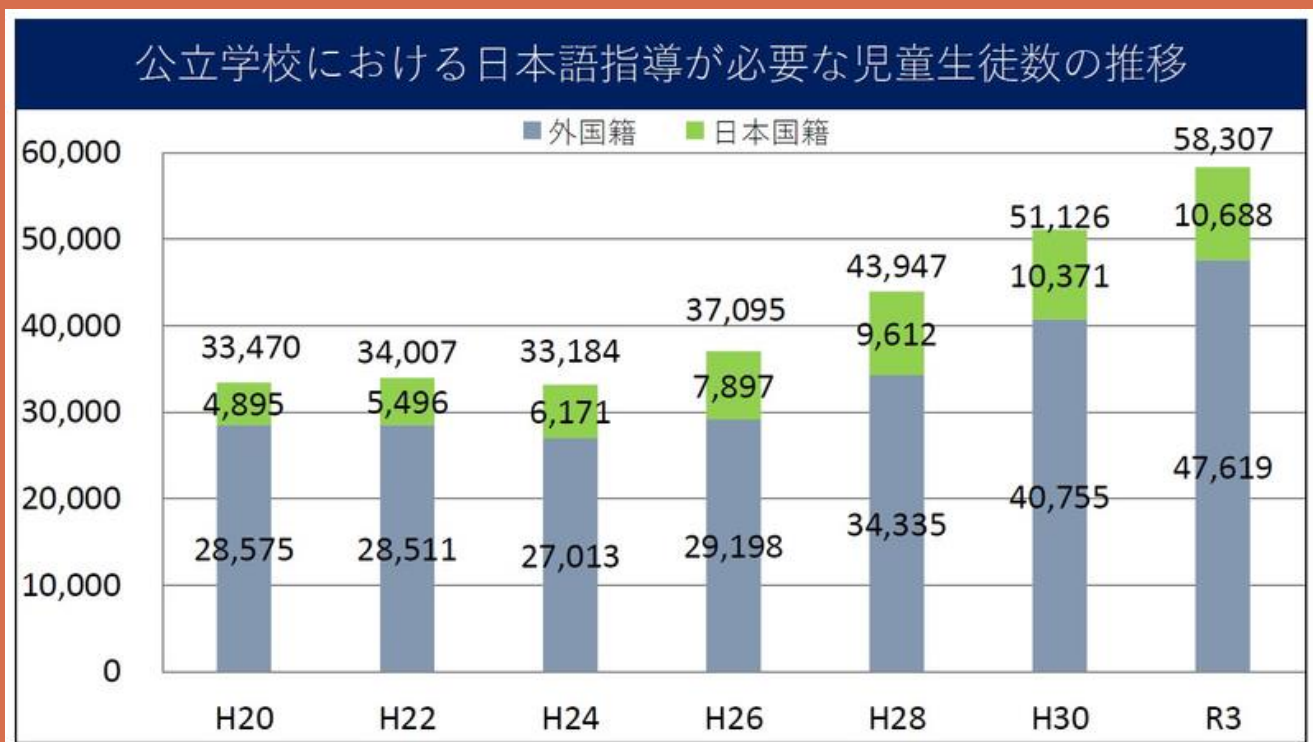
- 外国にルーツを持つ親子の現状
- ダブルリミテッドとは
- 活動団体の紹介
  1. はじめの一步教室
  2. にわとりの会
  3. NPO法人シェイクハンズ
- 私たちにできること

# 外国にルーツを持つ 親子の現状

令和4年末時点での日本において、在留外国人数は約307万人であり、前年に比べ約31万人増加しています。特に親子で日本に来る場合、家庭内および学校生活での言語問題に苦しむ人が多くいます。

文部科学省の統計によると、2021年度時点で公立学校において日本語指導が必要な児童生徒数は約58,000人。

そのうち愛知県には10,749人と全国最多であり、全国の約22.3%を占めています。





# 「ダブルリミテッド」とは

ダブルリミテッドとは簡単に言うと、母語も外国語も上手く使えない状態のことを言います。

## どうしてダブルリミテッドになるのか

まず、私たちの言語使用は大きく2つに分けられます。一つは日常会話などで使われる「生活言語」。もう一つは学校の勉強で使われる「学習言語」です。言語の発達は生活言語の上に学習言語が積み上げられるため家庭内で母語を用いて日常会話を行っている場合、学習言語は日本語（外国語）になるため、どちらも中途半端な状態になってしまうのです。

## ダブルリミテッドの問題点

母語の発達が中途半端な状態だと、思考言語も発達しないため、自分の意見や感情をうまく言語化できなくなります。こうした状況が続くと、精神的に不安定になってしまいます。もちろん日本語も不十分のため、学校の学習にもついていけません。

# 活動団体の紹介

## 1. はじめの一步教室（名古屋市北区）



### 団体概要

はじめの一步教室は、学校だけでは学習が不十分な子どもや、日本語を学び直したい大人の方々に幅広く学習支援を行っている団体です。

一人一人に合わせた勉強のサポートをするだけでなく、外国につながりをもつ住民の皆さんが母国の友達を作る「居場所」としての役割も担っています。

### 活動内容

「学校の宿題が難しいから教えてほしい」、「日本に来たばかりでひらがなから勉強したい」、「戦争を経験して十分に教育を受けられなかったため学び直したい」など、それぞれ異なる学習者さんのニーズに合わせて学習をサポートします。

活動時間は土曜日の10:00~20:00で、好きな時間に参加できます。



### 大切にしていること

はじめの一步教室には、国籍や年齢の制限はなにもありません。「学びたい」という気持ちがある人なら誰でも参加できる、誰も排除しない場所であることを大切にしています。学習者と支援者がお互いに関わり合うことで、双方にとっての居場所となっています。

# 活動団体の紹介

## 2. にわたりの会

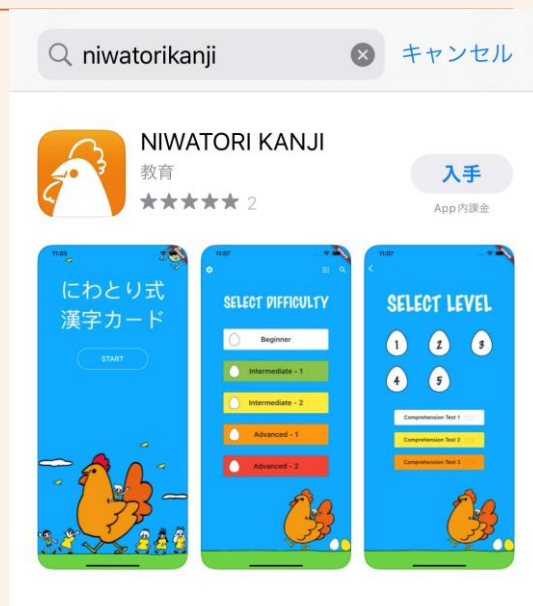


### 団体概要

にわたりの会は外国につながる子どもたちが学習言語を習得するために使用する教材・カリキュラムの開発を行っています。外国につながる子どもたちはダブルリミテッド（二言語とも十分に発達してない状態）の恐れがある児童も多いことから、日本語の習得に向け、発達段階や興味にあった「教材・カリキュラム・評価法」の提供を行っています。

### アプリケーション紹介

NIWATORI KANJIは257の漢字を1日15分、2か月で記憶できるようプログラムされたものとなっています。対応言語は10か国語（英語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語、北京語、広東語、ベトナム語、ネパール語、ウクライナ語、ロシア語）。1つの文字に2つ以上の読み方がある日本の漢字をこのアプリによって一度に覚えることができます。



### 大切にしていること

にわたりの会が大学生に願うことは細くてもいいから支援を行いつけてほしいということです。特に大学生は講義や就職活動に追われ、忙しいことも多いと思いますが、それを分かった上で近所でのボランティア活動や学校への関わりを持ち続けてほしいとのことです。



# 活動団体の紹介

## 3. NPO法人 シェイクハンズ (犬山市)

### 団体概要



犬山市に住む外国籍の子ども（ブラジル、ペルー、フィリピン等）の学習支援、就学前の子どもの支援、居場所づくりを目的に作られました。周辺市町村や団体と連携して外国籍住民に対する支援の必要性、大切さを訴えています。

### 活動内容

- ・ にじいろ寺子屋…週5回、放課後に開催される日本語・教科学習支援の場
- ・ 親子サロン…遊びを通じた親子間の交流に加え、支援者が親御さんの子育てにおける悩みを聞き出す場
- ・ プレスクール…日本語支援、生活習慣づけの支援
- ・ コミュニティ農園…地域住民と外国籍の方との交流の場 など



### 大切にしていること

一番大切なのは、「切れ目のない支援」を行うこと。幼稚園→小学校→中学校→高校と、子どものライフステージに合わせた多様な支援を行うことが重要で、そのために様々な年齢層の子ども向けの教室を開いています。

# 私たちにできること

私たちにできることは、こういった団体があることを知ることはもちろん、実際にボランティアとして参加することです。ここでは支援者としてボランティアを募集している団体を紹介します。



## 名古屋国際センター

(Nagoya International Center)

名古屋国際センターでは、多言語での情報提供や相談を行っています。また、ボランティアによる日本語教室のほか、若者ボランティアが企画運営に携わるグローバル人材育成事業など、様々な事業を実施しています。



## 国際こども学校 (ELCC)

公教育を受けることが難しい環境にある、在日フィリピン人の子どものための学校です。毎週月～金曜日、フィリピン語、英語、国語、算数、理科、社会、音楽、体育、家庭科、図工などを教えています。地域の学校へ送り出す準備の器としての役割を果たしています。



## トルシーダ (NPP TORCIDA)

子どもたちの「心の居場所」として不就学、不登校、来日直後の外国籍の子どもたちを対象に活動を行っています。日本語教室やプライベートレッスンなどの日本語教育の提供を通して、子供たちの居場所づくりに貢献しています。